

## 疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科  
先端予防医療学

### 【研究課題名】

ボノプラザンを用いた *H. pylori* 一次除菌失敗に関する危険因子の検討

### 【研究期間】

2016年8月30日～2019年3月31日

### 【研究の意義・目的】

*H. pylori* 感染は胃・十二指腸潰瘍のみならず、胃癌の危険因子と考えられており、本邦では胃癌の撲滅を目的として除菌療法が行われています。2015年2月から、新規の酸分泌抑制薬であるボノプラザンを用いた一次除菌療法が保険適用となりました。しかし除菌失敗に関する危険因子の報告は未だ無く、本研究結果により今後の除菌レジメンの変更や、それに伴う除菌率の向上につながる可能性が示唆され、臨床的に有意義であると考えられます。

### 【研究の方法】

2015年2月1日～2018年3月31日に受診された方のうち、ボノプラザンを用いたヘリコバクター・ピロリ菌に対する一次除菌療法を施行された患者様のデータを使用させて頂き、臨床研究を実施致します。使用させて頂くデータは身長、体重、既往歴、常用薬などの背景因子や、抗ピロリ抗体値や内視鏡所見などの検査所見、除菌療法の結果等のカルテ上に記載されているデータです（後ろ向き観察研究）。除菌成功群と失敗群の間でデータを比較検討し、危険因子を探索します。研究使用を希望されない場合は、当院までご連絡下さい。

### 【研究組織】

大阪市立大学医学部附属病院先端予防医療部附属クリニック MedCity21  
研究代表者；田中 史生

### 【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者；田中 史生

住所；〒545-6090 大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 あべのハルカス 21F

電話；06-6624-4010

FAX；06-6624-8212